

足立区少年団体連合協議会

# 少連協ニュース

○発行/足立区少年団体連合協議会 〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1 足立区役所青少年課 青少年事業係 TEL 03-3880-5275  
○発行人/山本輝夫 ○編集/調査広報部 田中 川田 市川 鈴木(春) 辻村 岩井 熊澤 仁科 常田



▲3年ぶりのJL中学生キャンプ 鋸南自然の家



▲鋸南1日目ゲーム大会の1コマ



▲人数制限してのヨーヨー釣り

日頃より、足立区少年団体連合協議会の皆様には青少年の健全育成にご尽力をいただいております。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、活動を制限されているなか、子どもたちの安全を第一に事業を実施していただき、感謝と御礼を申し上げます。

私の子どもの頃は、地域の方々に見守られながら、近所の空き地に兄弟たちを連れ友達と遊んでおりました。ザリガニや雷魚釣りなど、自然とふれあう機会も多かったです。子ども同士で意見を出し合い知恵を絞り出し目的を達成したことは良い経験となっております。

少子化が進み、コロナ禍で人と人とのコミュニケーションが薄れている現在、地域の方々との交流は貴重な活動だと思います。活動を通じ様々な課題に直面し教えや指導をしていただき学んでいく実際の体験は子どもたちにとって大きな自信になることでしよう。これからも皆様方とともに子どもたちの健やかな成長に全力を尽くしてまいります。



課長 山田 勉

足立区青少年課

地域の方々との交流は  
貴重な行動

目次

青少年課課長あいさつ・・・P1

ジュニアリーダー研修会・・・P5

総会・退任あいさつ・・・P2

ジュニアリーダー宿泊研修・・・P6

新任あいさつ・地少協の活動・・・P3

会長あいさつ・フューチャーカンセツ活躍・・・P7

育成会セミナー・育成者入門講座・・・P4

全子連表彰、指導者退任あいさつ・・・P8

# 通常総会開催

総務部 副部長 大山千恵子

令和 4 年 5 月 14 日、竹の塚地域学習センター四階ホールにて少連協総会が開催されました。コロナ禍のため懇親会は行わず、ご来賓は教育委員会より青少年課長山田勉様をお迎えしました。

コロナ感染症対策のため人数を制限した総会は令和 4 年度活動指針「やさしく・たくましく・耀く子ども」の育成を基本とした事業方針案と他の全ての議案が承認され、退任役員・退任常任理事の方に感謝状、功労者の方に表彰状を贈呈しました。

出席者数は決して多くはありませんが徐々に活動が再開されたことを実感しました。学校の統廃合により上沼田地少協と江北地少協が合併し、新しい地少協が誕生しました。ジュニアリーダークラブの高校生達の心強いあいさつに励まされ、令和 4 年度の一步を踏み出し閉会しました。



▲人数制限を設けての総会



▲JLクラブ今年度役員

# 令和4年度 足立区少年団連合協議会役員



▲令和 4 年度役員

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 会長     | 山本 輝夫              |
| 副会長    | 四宮 淳司(事務局長・総務部長兼務) |
| 副会長    | 田中 加代(調査広報部長兼務)    |
| 副会長    | 鹿浜 安弘(育成部長兼務)      |
| 会計     | 日高 佐和子             |
| 会計     | 下島 泰則              |
| 会計     | 中村 清代              |
| 会計     | 小沼 ちさ子             |
| 書記     | 市川 元一              |
| 書記     | 大関 英広              |
| 書記     | 高橋 利男              |
| 書記     | 鈴木 匠               |
| 事業研修部長 | 関 昭男               |
| 会計幹事   | 山崎 金壽              |
| 会計幹事   | 岩澤 明美              |

# 退任あいさつ

蒲原地少協 四宮 淳司

蒲原地少協は昭和39年に設立され、まもなく60周年を迎えます。昭和50年代には会員数が2672名と記録されています。

歴史のある地少協の7代目として平成23年に就任させていただきあつという間の10年でした。

その間、学校宿泊キャンプやJLクラブ「カバチ」立上げなど新規事業を一緒に作り上げてくれた歴代の役員の皆様には感謝しかありません。

大変な時代になりましたが、伊原新会長を先頭に今まで以上に「元気に楽しく」子どもたちを導いてください。

旧江北地少協 岩井 晴美

令和4年の総会を持って旧江北地少協は解散となり、会長を退任する運びとなりました。

十代目会長として8年、また27年間地少協に関わり色々な経験ができ、沢山の方々との出会いがありました。

会長は退任しますが地少協の一員としてこれからも子ども達の活動、育成に携わってまいりますと思っております。

前調査広報部長 清水 康弘

ドッジビー大会をたくさんの子どもたちに体験してもらいたい。安心安全なドッジビーを足立区全体に広げよう。少連協で活動させていただいた、ひとつのことです。

いまほど、子どもたちが生きていくことが大変な時代はないのではないのでしょうか。みんなやりたいこと、したいこと、いっぱいできていくかなあ。みんなは大切に大事にされているかなあ。

子どもたちを、大人が守っています。親・保護者であり、地域の大人、近所のおばさんおじさんたちです。今までありがとうございました。



## 新任役員あいさつ

**蒲原地少協会会長 伊原 次郎**  
この度、四宮前会長の後任として蒲原地少協会会長となりました。

前会長や歴代の会長の残した足跡・伝統を継承しつつ、私なりのカラーも出せるように頑張ります。行き届きませんが、少連協の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

**江北地少協会会長 町側 尚則**

この度、新江北地少協の初代会長となりました町側尚則です。今まで上沼田地少協の会長でしたが、4月に江北小学校と江北地少協担当の高野小学校が統合し、両地少協内に中学校1校・小学校2校と減少するので、1年前より地少協の統合を視野に入れた会議を行い4月19日総会で両地少協の解散と新地少協の発足をしました。

地域の子どもの活性化を目標に、一丸となって活動して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

**第八地少協会会長 小林 直樹**

令和4年度より第八地少協の会長となりました。少連協のことは、右も左もわからないですが、諸先輩方にご迷惑をかけぬよう、協力していきたいと思えます。

子ども達の育成や見守り、そして山本会長が話されていた、「子ども達が新常態を生み出す『行動変容』は未来へ繋がる架け橋」の言葉、子供達に少しでも手助けができればと思っております。

少連協の皆様、地域の皆様と手を取り合い、力を尽くし活動したいと思えますので、よろしくお願いたします。

## 鹿浜地少協ドッジボール大会

押部第一子ども会 ドッジボールチーム監督 首藤 智美

7月10日に北鹿浜小学校において令和4年度鹿浜地区少年団体協議会ドッジボール大会が開催されました。鹿浜地少協内の子ども会に所属している5チームが参加。全チーム総当たり戦、1セット5分の3セットマッチで行いました。体育館の人数制限があり、各チームにそれぞれ控室を設け、感染症対策を実施して行いました。大会は5チームの実力が均衡したせいかわるセツトになる試合が10試合中4試合もあり、白熱した大会でした。また、次の大会はどのチームが優勝するのか今後の練習にかかっているのではないかと思います。

コロナが急増している中、大会が開催できるか不安でしたが、地少協の方々の感染対策と熱中症予防、学校側のご配慮のおかげで、無事に大会が終了することができ、とても感謝しております。どうもありがとうございます。



▲鹿浜会長から賞状授与



▲ドッジボール優勝チーム

## 地少協の活動

### 第四地少協 ラジオ体操

第四地少協 常田 美代

夏休みに入り、第四地少協に属する各子ども会ではラジオ体操が行われました。コロナ禍に入り3年目の夏になりましたが、感染症対策としての消毒、距離を取ることを自ら行っていました。

この町会も盆踊り、夏祭りなどが中止となる中、ラジオ体操にはたくさんの大人や子供が集まり、暑い中の短い時間ですが、楽しく元気に体操を行い、若松町会では高校で体育の教員をされているお父さんに立っていただき、授業さながらの熱い指導をいただきました。

最終日には、皆勤賞や参加賞など用意し、一番参加者が多かった足立四丁目ではマクドナルドの引換券、そしてガリガリ君の定番ソーダ味が配られ、朝からアイスに子ども達は大喜びでした。青空子ども会では参加賞の他、皆勤賞の子どもにはお菓子やカップラーメンなどもたくさん。若松子ども会では参加賞としては駄菓子をお配りしました。ヨーヨーも配る予定でしたが、少しでもお祭り気分を味わってもらおうとのことでビニールプールに水をはり、ヨーヨー釣りを行いました。予想以上に子ども達が喜び、前日夜に慣れない手つきでヨーヨーを作った役員は苦労して作った甲斐があったと感激し、ラジオ体操は無事に終了しました。短い期間でしたが、今はあまり会えない子ども達や保護者の方と少しでも触れ合う時間ができて、また子ども達のために何かやってあげないかという気持ちに改めてなり、役員にもいいラジオ体操になりました。



▲広い公園を使ってラジオ体操



▲出席スタンプは、役員巡回

## 育成者セミナー 地少協の未来にむけて

事業研修部長 関 昭男

「令和 4 年度育成者セミナー」が 6 月 26 日(日)10 時より東京藝術センター(天空劇場)にて開催されました。10 のグループに分かれ、主催者の山本輝夫少連協会長、足立区教育委員会青少年課山田勉課長より挨拶を受けて始まり、山本会長より少連協の活動方針である「少連協 VISION2025」プロジェクトについての基調講演、次に進行役の鹿浜安弘副会長が地少協・子ども会「2025 年度にはこうなっていきたい計画」をテーマに課題が示されました。文字組合せゲームで緊張感をほぐしてから、それぞれの地少協の将来に向けた課題や目標について話し合いを行いました。各地少協の発表の中では「後継者不足やコロナ禍で活動が難しく、なかなか思うようにできなかったが、工夫をしながら行事を行った。」また「地域の中で子ども会をつくりたいがどの様にすれば良いのかと相談されました」等の報告がされました。

本セミナーでの話し合った事を第一段階として実践しながら継続していただければと思います。話し合った目標、各地域にあわせた企画で活動していただければと思います。最後になりましたがセミナー開催にあたり、足立区教育委員会、少連協役員の方々はじめ事業研修部員のお力添えをいただいたことに深く感謝申し上げます。



▲各地少協ごと2025年目標発表



▲各地少協ごと2025年までの目標話し合い



▲アイスブレイクゲームについて本気に

## 育成会入門講座

浦原地少協 伊原 次郎

5 月 15 日、地少協の総会終了後に東  
 渕江小学校のランチルームをお借りし  
 て、コロナ禍の中、参加人数を制限し  
 て育成会入門講座を行いました。

始めに地元講師として、私が子ども  
 会の成り立ち・変遷や地少協との関わり、  
 年間行事等の話をさせていただき、  
 続けて外部講師として四宮副会長にパ  
 ワーポイントにて、子ども会↓地少協  
 ↓少連協↓都子連につながる流れや、  
 少連協のキャンプ・ジュニアリーダー  
 等の説明をして頂きました。参加され  
 た保護者の方々も、現在の子どもの会  
 の状況と立ち位置について、興味深い話  
 が聞けたと開催前よりも関心が高まっ  
 た様だと感じました。日頃より活動を  
 して参りましたが、まだまだ地域の人々  
 にアピールが足りないのと、痛感させら  
 れた入門講座でした。今年少しコロ  
 ナも収まりつつあるので、各行事等で  
 会員の増加に努めたいと思います。





# ジュニアリーダー研修会

## 新校舎にて開催 江北地少協

江北地少協 岩井 晴美

## 3地少協合同

第十四地少協会長 鈴木 匠

令和4年6月18・19日江北小学校の体育館で2年ぶりのジュニアリーダー研修会を実施しました。

今回は9名の受講者が参加しました。

初日は講師一人であり活気が無かったのですが、2日目はチャーター・カウンセラー3名ジュニアリーダー2名参加で雰囲気が変わりチームに分かれてのゲーム、発表など元気よく楽しんでました。2日間とも30度をこす暑さでしたが新校舎でクーラーが効いていて広くとても快適な研修会でした。

受講者に年齢が近い補助、ジュニアリーダーが一緒だととても楽しそうでした。

昼食が校内で取れなかったため、高野町会会館までの暑いなかの往復は大変でした。

全員が無事怪我も無く修了することが出来ました。



▲新しい体育館でJL研修会



▲昼食は、高野町会会館で

本年度のジュニアリーダー研修会は4月23日より16会場で行われました。

3年ぶりの各地少協での開催のために多くの子ども達で楽しめるようにと花畑地少協・洩江地少協・第十四地少協は合同での開催としました。この3地少協は合同で開催するのが初めてで遠い地域からの参加に不安もありましたが、真ん中にある洩江小学校を会場とする事で各地域より25名の子どもが参加してくれました。子ども達は全員が初めての参加だったこともあり、最初は同じ小学校の仲間での小さな輪でした。途中見ていた負けず嫌いの大人が本気で勝負して輪の中に入ったりもしましたが、最後にはキャンピングで呼び合う地域を超えた大きな輪となり24名の子ども達も修了しました。今回参加した子ども達も皆積極的に手を上げ発表をしいリーダーになれると感じました。

違う地域の仲間ができたことは子ども達だけでなく運営する我々にとっても良い経験になったと思います。



令和4年度 ジュニアリーダー研修会日程表

地少協/会場	1回目	2回目	3回目	地少協/会場	1回目	2回目	3回目
千寿地区 学びピア・千寿双葉小	5/15 (日) 9:00~12:00 学びピア21	5/15 (日) 13:00~16:00 千寿双葉小	5/22 (日) 9:00~12:00 学びピア21	中川・蒲原・東綾瀬 綾瀬小学校	6/12 (日) 9:00~12:00	6/12 (日) 13:00~16:00	6/19 (日) 9:00~12:00
第四 足立小学校	6/4 (土) 9:00~12:00	6/4 (土) 13:00~16:00	6/5 (日) 9:00~12:00	第十三 辰沼小学校	6/18 (土) 9:00~12:00	6/19 (日) 9:00~12:00	6/19 (日) 13:00~16:00
第五 西新井第一小学校	4/24 (日) 9:00~12:00	4/24 (日) 13:00~16:00	5/1 (日) 9:00~12:00	第十四・花畑・洩江 洩江小学校	6/18 (土) 13:00~16:00	6/19 (日) 9:00~12:00	6/19 (日) 13:00~16:00
第六 本木小学校	6/12 (日) 9:00~12:00	6/18 (土) 13:00~16:00	6/19 (日) 9:00~12:00	扇 興本小学校	6/11 (土) 13:30~16:30	6/18 (土) 9:00~12:00	6/18 (土) 13:00~16:00
第七・第九 梅島小学校	5/7 (土) 9:00~12:00	5/7 (土) 13:00~16:00	5/8 (日) 9:00~12:00	江南・新田 新田小学校第二校舎	5/28 (土) 9:00~12:00	5/29 (日) 9:00~12:00	5/29 (日) 13:00~16:00
第八・鹿浜 鹿浜五色桜小学校	4/23 (土) 13:00~16:00	4/24 (日) 9:00~12:00	4/24 (日) 13:00~16:00	江北・上沼田 江北小学校	6/18 (土) 13:00~16:00	6/19 (日) 9:00~12:00	6/19 (日) 13:00~16:00
第十一 弘道小学校	4/23 (土) 13:00~16:00	5/21 (日) 9:00~12:00	5/21 (日) 13:00~16:00	舎人 舎人小学校	6/5 (日) 9:00~12:00	6/11 (土) 13:30~16:30	6/12 (日) 9:00~12:00
青井・栗島 中央本町地域学習センター	5/22 (日) 9:00~12:00	6/11 (土) 9:00~12:00	6/11 (土) 13:00~16:00	保塚 花保小学校	6/18 (土) 9:00~12:00	6/19 (日) 9:00~12:00	6/19 (日) 13:00~16:00

申込総数 303名

延べ受講者数 921名

# ジュニアリーダー宿泊研修 中学生キャンプ 7月16日～18日

キャンプ長 鹿浜 安弘



▲出発前の抗原検査 全員陰性確認！

3年ぶりのジュニアリーダー宿泊研修会、天気がどうなるかスタッフたちと心配していた矢先、教育委員会から電話が来ました。「感染者が急増しているので上司が延期もしくはバスを増やしてくださいって言うてます」出発3日前だよ。急遽バスを追加し、定員数の半分を着席部屋も定員の半数。出発前にPCRもしくは抗原検査で陰性を確認してから出発を条件に了承を頂く。出発前に疲労困憊です。

何とか参加者スタッフ全員陰性を確認でき、区内33名の中学生9名の高校生リーダー看護師3名青少年課4名少連協スタッフ6名で鋸南自然の家へ出発することができました。

1日目は生憎雨がふり、体育館でゲーム大会を開催。実は順位で明日の買い物ウォークラリーの軍資金が決まります。最近の中学生は男女の仲がいいです。班活動でもコミュニケーションをとれています。

2日目は3ヶ先のスーパーへお昼のカレーライスの材料を買いにウォークラリー。昨日のゲーム大会の順位でもらえる金額が変わってきます。必要な具材をかうと時に余ったお金でデザートを買ったり、おやつを買ったり相談をしながら買い物をしました。

お昼はグラウンドに簡易かまどを作り、飯盒炊爨体験です。メニューはカレーライス。6班それぞれ個性のあるカレーライスができました。

午後は創作アクティビティ。ウォークラリー、飯盒炊爨の体験談を紙芝居にして、2時間半で各班物語を作りみんなの前で発表します。夜はメインイベント、キャンプファイヤーです。組んだ木に火を着け、高校生リーダーが中心になり、歌やダンスで盛り上がりました。帰り道にちょっとした肝試しもあったようで、中学生の叫び声が暗闇から聞こえてきました。

最終日は体験学習。まず、館山の漁師さんが海で捕ってきたウミホタルを鑑賞。自分の手に乗せて光るウミホタルに興奮する中学生。そのあと、館山市に移動し赤山坑道を見学。旧日本海軍の防空壕跡を見学しました。中学生なのでウクライナで起こっている情勢を考えながら防空壕を歩きました。そのあと海上自衛隊館山基地が一般開放しているので救助ヘリコプターを見学。広大な基地と基地内にあるヘリコプターなどを見学することができました。3日間一緒に生活をするとマスク越しでも子どもたちの表情がわかるようになり、子ども達だけでなく我々少連協スタッフも同時に成長できました。大きなけがもなく、全員無事に足立区に帰ることができた事と、開催にあたり協力していただきましたすべての方々に感謝申し上げます。



▲グラウンドでの飯盒炊爨  
おいしくできたかな？



▲ゲーム大会前のアイスブレイクゲーム



▲食事は、間隔をあけて黙食



▲海上自衛隊員と一緒に



## 2022年ジュニアリーダー研修会 夏の宿泊キャンプ



足立区少年団体連合協議会 会長 山本 輝夫

夏休みを心待ちにしていた児童生徒のモチベーションが気掛かりだ。酷暑とコロナ禍第7波による様々な事業の延期・中止は3年を経過し、まさにウイズコロナ新様態を見据え、万全を期して安全安心を整えることから始まる。なぜなら不透明な課題と向き合い、変革は挑戦から始まるといえる。

さて、子どもたちの夏休みは、自主的に過ごす貴重な実体験で、成功も失敗も大きく成長させる自己を見つめる掛け替えのない夏の瞬間だ。

我が身に置き換えると当時が懐かしく蘇る。小学5年・6年生の時、千葉岩井臨海学校に参加した光景は鮮明である。クラスメイトと砂浜、波間に戯れたことは生涯脳裏から離れることはない。2泊3日の思い出は先生の声まではっきりと思い出す。真っ青に広がる空、煌めく水平線に天高く輝く入道雲。最後の夜はキャンプファイヤー。62年も前の記憶だ。家族旅行とは違う海浜の体験だった。あの頃の仲間は元気になっているのか胸が熱くなった。「2022年ジュニアリーダー研修会」修了者の夏季宿泊キャンプは、猛威を増すコロナ禍第7波の影響で、小学5年・6年生が楽しみにしている宿泊キャンプは予定を変更せざる得ない状況だ。再度検討することになった。

中学生は7月16日から7月18日、鋸南自然の家で実施された。出発当日は参加者、スタッフ全員が抗原検査・PCR検査チェックにより、陽性者なしのもと出発にこぎ着けた。中学生の宿泊キャンプを表彰すると、実に元気で頼もしい。

さらにリーダークラブに加入し後輩の指導者となることを強く願っている。

結びにキャンプ長・プログラムディレクター・青少年課スタッフ・看護師スタッフ・少連協キャンププロジェクトチーム・リーダープロジェクトチームの皆様にご感謝と御礼を申し上げます。

## チューター・カウンセラーの活躍

育成部長 鹿浜 安弘

令和4年度ジュニアリーダー研修会は区内16会場・補講会場2会場で29地少協のご協力のもと、無事終了することができました。研修会申込人数は303名、参加延べ人数は補講の再受講も含め921名となり過去最高だった令和元年の609名をぬきました。

このような結果の要因の一つに大学生・高校生によるチューター・カウンセラーの存在があげられるのではないのでしょうか。私自身約40年前、ジュニアリーダー研修会で出会ったカウンセラーの高校生のお兄さん・お姉さんの存在は大きく輝いて見えました。また、たくさんの遊びを教えてください、いろんな話を聞いてくれた人たちです。

私も講師として3会場で小学生と過ごしましたが、小学生たちは私には見せない満面の笑みをカウンセラー達には見せるのです。レクリエーションやゲームの技術ではまだまだ若者たちには負ける気はしませんが、笑顔を引き出す力には完膚なきまで打ちのめされた気分でした。

まだまだ、物足りなく感じる若者たちですが、我々にはない彼らの力を伸ばし成長させていきたいと思います。



▲JL 研修会で大活躍



▲体育館いっぱい使って、ゲーム指導

# 全国子ども会連合会 令和3年度指導者育成者の部授賞

## 私を育てたジュニアリーダー活動

キャンプディレクター 竹島 幸聖  
本日は表彰をしていただき誠にありがとうございます。今までの活動を皆さんに認められたこととても嬉しく思います。

私が初めて足立区のジュニアリーダー活動に参加したのは、小学校5年生の時でした。参加者として、レクリエーションをしたり、キャンプに行ったり、とても楽しかったことを覚えています。その活動の中で、グループリーダーやプログラムリーダーの先輩たちが大人に見え、私もリーダーになりたいと思いました。リーダーになってからは沢山のプログラムを考えました。

特に印象に残っているのは夏のキャンプの企画です。仲間と相談したり、地域の方々の協力を得たり、行政と打ち合わせしたり。それは思った以上に大変でした。私が、進行がスムーズにいかずイライラしてしまうことや、思いが強すぎて独りよがりになってしまい注意を受けたことなど、さまざまな場面で自分が気づけなかったことに気づくことができました。そんな時でも仲間の励みや、参加者の子ども達の笑顔が私を支えてくれました。

そのような活動を通して、私は達成感を感じることが出来たり、年齢を超えたつながりが出来たりしました。そのつながりが現在でも続いています。



▲裾南中学生キャンプではプログラムリーダーとして活躍



▲恥ずかしがりやの一面もキャンプネームはケンミン

私のジュニアリーダー活動を継続させる力になっていきます。

振り返れば、今の私をつくっているのは、様々な人と出会わせてくれ、様々な体験をさせてくれた足立区ジュニアリーダー活動なのだろうと思います。改めて、私が活動してきた中で関わっていただいた全ての人に感謝しています。本当にありがとうございます。

## ジュニアリーダー 指導者退任

西山 珪子

私の子ども時代は、九州玄界灘、白砂青松虹の松原を有する町で、ラジオ体操は海岸清掃後に行われ、夏休み終盤の夜はお寺の本堂でのお楽しみ会と境内での肝試しが定番。白浜・神社・役場では、屋外巡回映画が催され、祇園まつりの山車の引き回しは、男衆の掛け声と共に子ども達は綱を引いた。地域の子どもを見守る役場職員・お寺の住職・元教師、それらを手伝う親戚の叔父達との思い出が、私の人生を先導した。

足立区の育成会も、戦後の貧しい時代に、地域の子ども達のためリヤカーで廃品回収し、お楽しみ会などを催したのが始まりとのこと。地域の子も達を思う先人達の行動には遠く及ばないが、私も我が子の小学校入学と共に、バトン教室や少年野球の保



▲新聞ドームは西山先生から広まりました

護者役割と平行して子ども会育成会の一員となり、JL研修会場校に受講生を引率し、育成者研修を受講。マズローの5段階法則と、これからの日本が成すべきは未来に繋ぐ子どもの育成の講話と、折り紙の羽ばたく鳥を教わった。講師小林孝明氏から、シニアクラブ入会を勧められ青少年課研修3年を経て入会。当時のJL研修講師は、児童文化研究会メンバーの小学校教師陣。私は指導者こそ学ぶべきと、青少年課の指導者向け研修だけでなく、日本レクリエーション協会に所属し、全国子ども会連合会・東京都子ども会連合会・幼児教育研究会・子ども会指導者養成学校・社会教育主事課程等々での学びは、JL研修の指導教材やレク財へと形を変えて、40年余り青少年課事業のお手伝いおばさんとなった。

私の努力は微々足るものだが、幸いなことに足立区の子も会育成会の「人・物・箱」は、途切れること無く充実している。これからは、指導者クラブのより一層の結束と研鑽に期待して、静かに去る老兵の心境にて、感謝の念と共にペンを置かせて頂くことにした。

## 編集後記

過去最速の梅雨明け（後日訂正）、線状降水帯による豪雨災害、コロナ第7波の感染者増等、あまり嬉しくない記録を更新する今夏。少連協ではジュニアリーダー研修会受講者数が過去最多となりました。チューター・カウンセラーの活躍も含め、少連協の明るいニュースで、子ども達の期待のあらわれです。

まだまだ油断できない感染症ですが、徹底した感染症対策を実施して、子ども達の楽しそうな姿を見ることが出来る活動をしていきたいと思えます。

68号を発行するにあたりご協力いただいた皆様ありがとうございました。